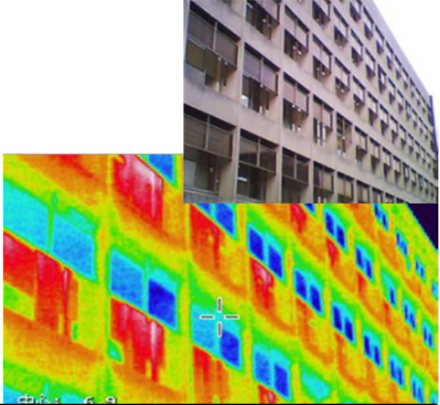
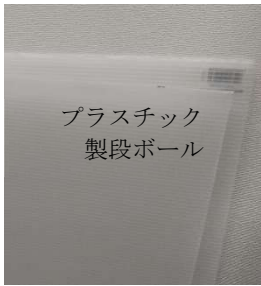
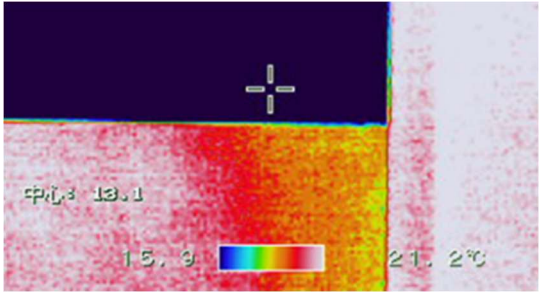


8 その他

番号	対策の名称
②	窓の断熱性向上
内容	日射による建物外壁の熱負荷は、夏の冷房負荷全体の約 1/4 であり、この中で窓からの熱負荷は外壁の熱負荷全体の 75%を占めるとされています。 従って、外壁の熱負荷を削減するためには、建物の壁の断熱性向上に加え、庇やブラインドの使用、窓の断熱性を強化することが有効です。 窓の断熱を強化することで、日射による入熱の抑制に加え、冬季に日射による照度を得ながら、室内の熱を外部に放出しない効果も期待できます。 庇やブラインド等のない窓について、プラスチック製段ボール等を貼って断熱するという事例もありました。このような工夫によって窓の断熱性向上を図ります。  市役所本庁舎の冬の窓 (窓周辺の温度が高くなっています。)
効果	下の写真のとおり、プラスチック製段ボールを張り付けた窓面と比較し、プラスチック製段ボールの無い窓面の温度が低くなっています。  ➡  冬の室内からの窓面温度 プラスチック製段ボールのない部分（紫色）の温度が低くなっています。
ポイント	- 窓の断熱性を向上させるための工夫は様々考えられます。 - 窓面だけではなく、窓枠部分などについても断熱性向上を図ることが有効です。